

地下埋設物簡易調査結果

【目次】

- 調査対象地
- 調査結果（対象地①） ※調査日：令和5年12月21日
- 調査結果（対象地②） ※調査日：令和6年3月15日

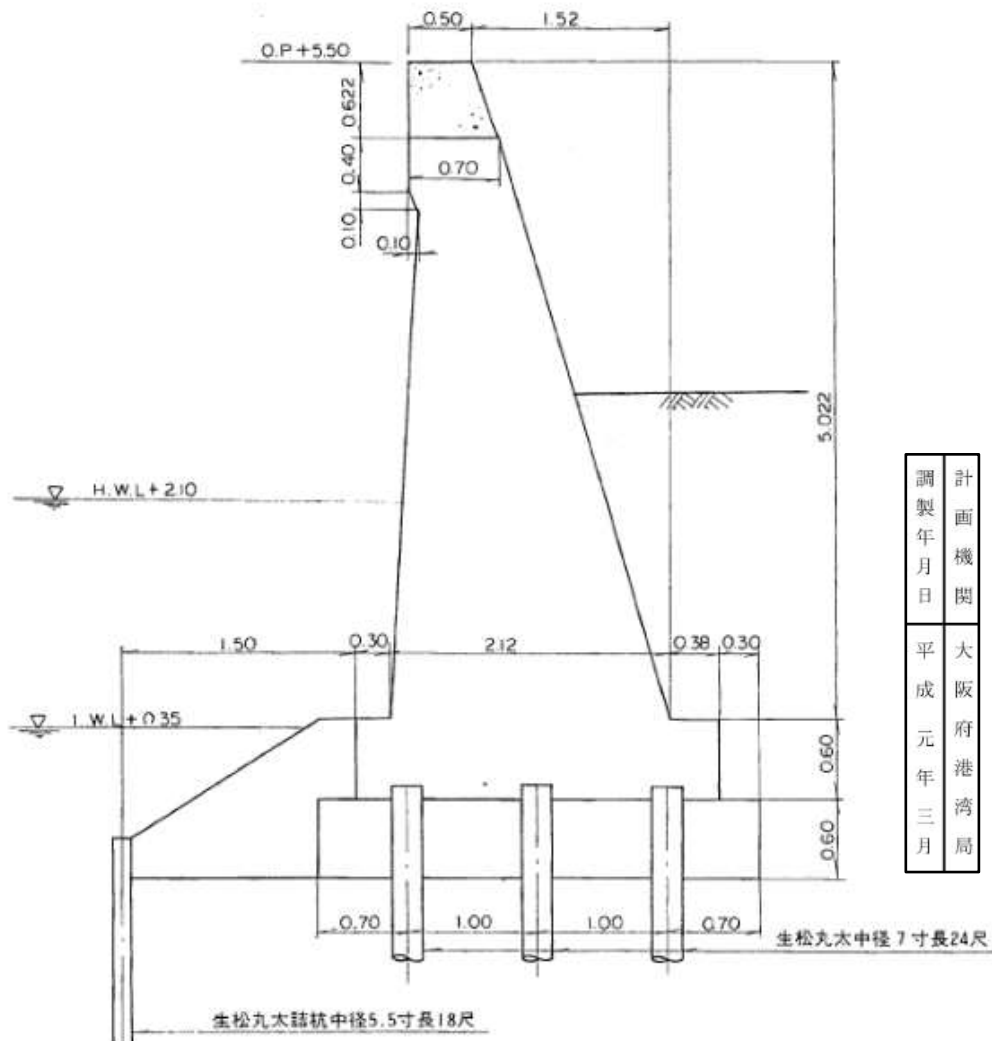
調査対象地



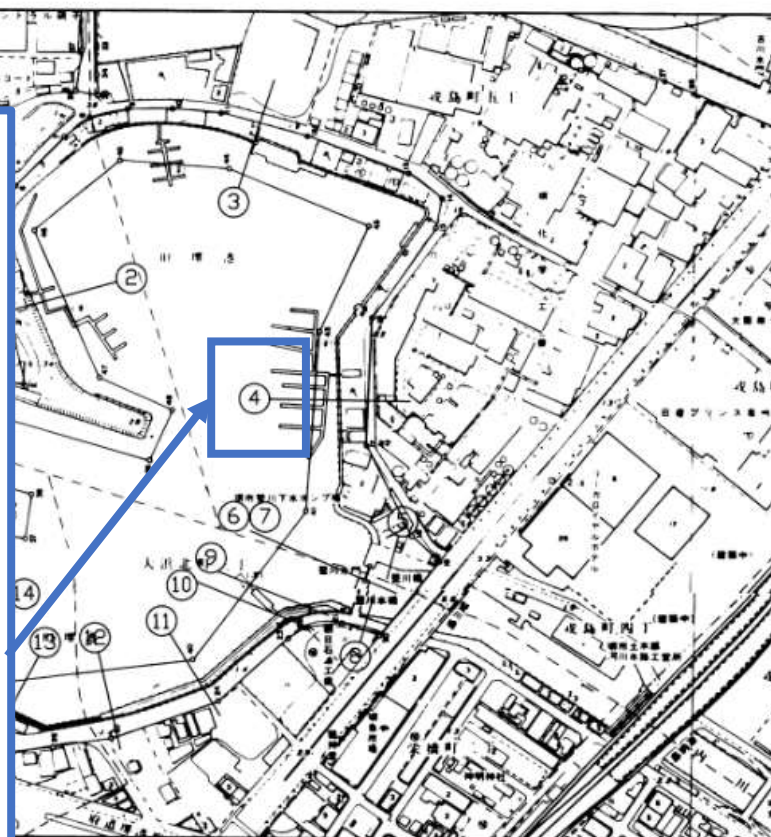
調査対象地

堺市堺港旧港地区 (運輸省)

S = 1 2,000



調製年月日	計画機関
平成元年三月	大阪府港湾局



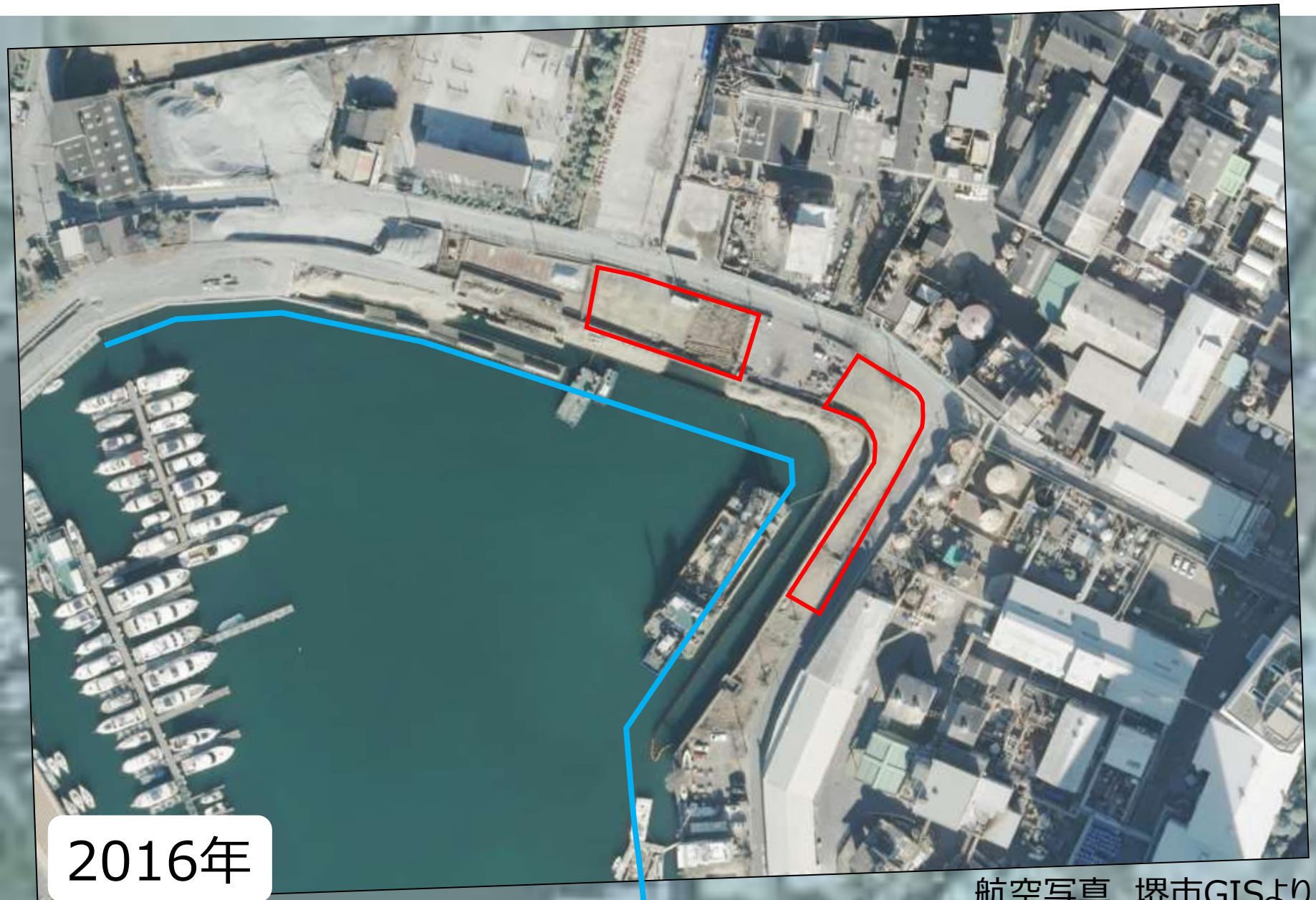
調査対象地

航空写真は市内GISの航空写真（R3）



2021年

調査対象地



調査対象地



調査対象地



調査対象地



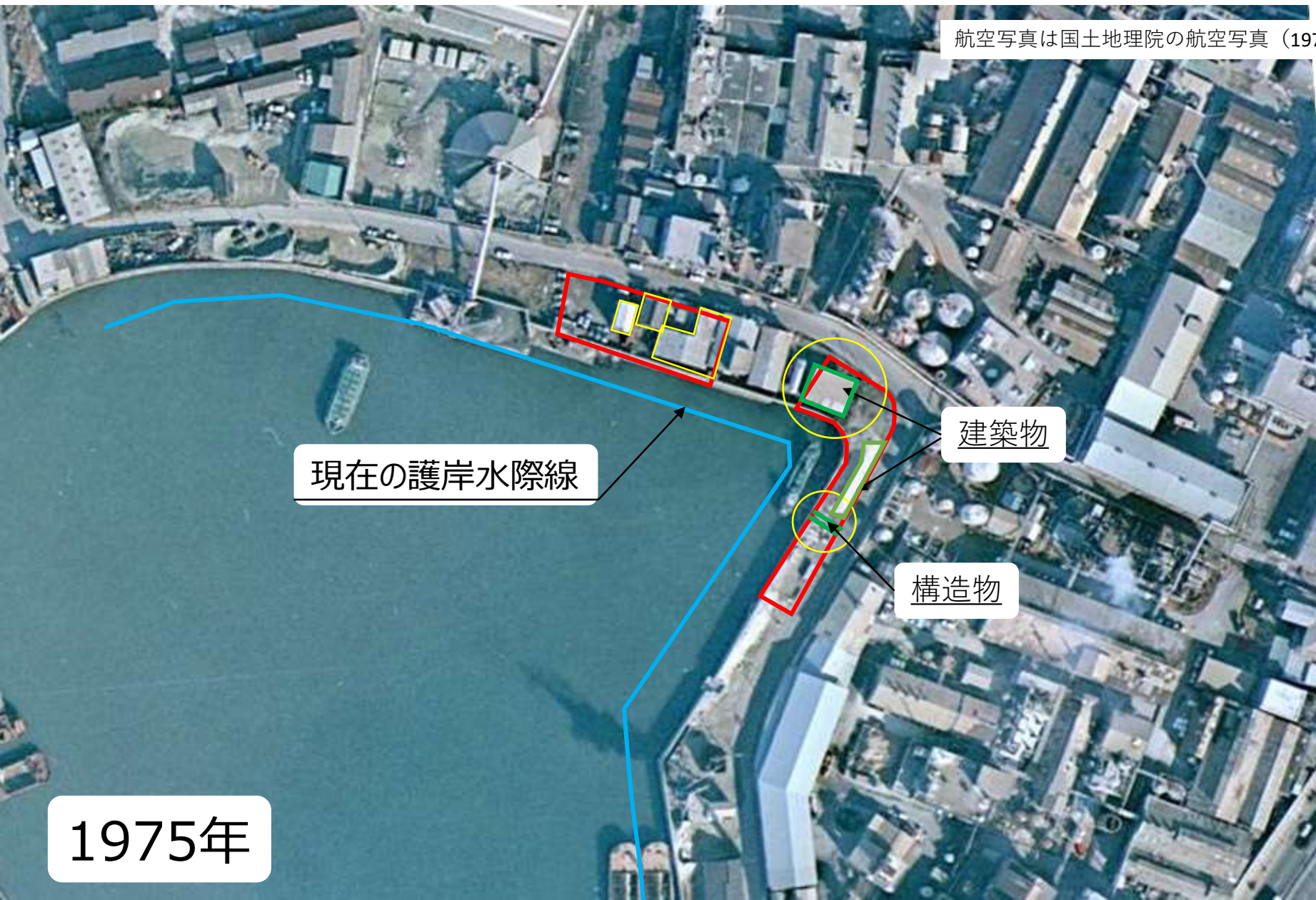
1985年

調査対象地



調査対象地

航空写真は国土地理院の航空写真（1975）



1975年

調査対象地

航空写真は国土地理院の航空写真（1948）

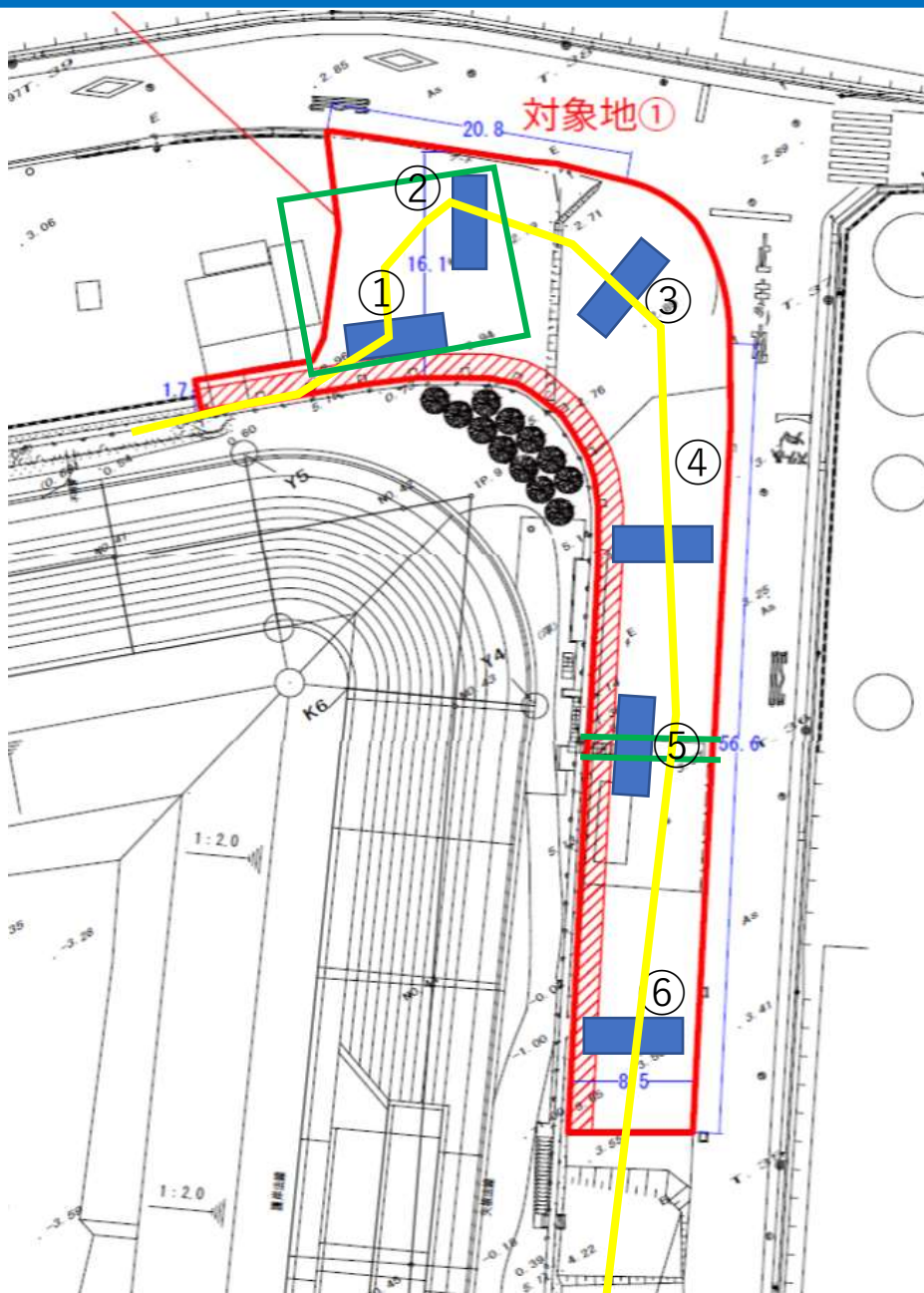
事業対象地

現在の護岸水際線

旧水際線（構造不明）位置

1948年

調査結果（対象地①）



・調査位置

 1m × 3m（深さ1.5m）

・調査場所と項目

	①	②	③	④	⑤	⑥
旧水際線があったと思われる場所	○	○	○	○		○
過去に建築物や構造物があったと思われる場所	○	○			○	
護岸離隔距離1.7m	○			○	○	○

※調査日：令和5年12月21日

調査結果（対象地①）

地点①

- ・表層10cm程度はコンガラ混じりの層（①～⑤まで共通）
- ・埋め戻し土のため、ガラ等も含まれるが障害物はなし

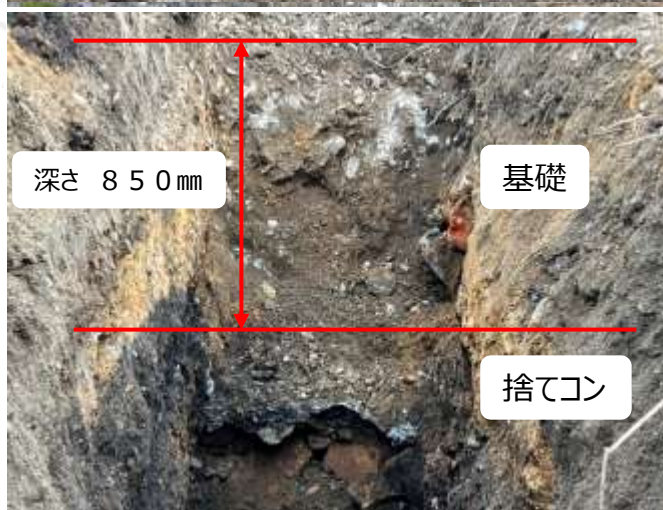


	①	②	③	④	⑤	⑥
旧水際線があったと思われる場所	○	○	○	○		○
過去に建築物や構造物があったと思われる場所	○	○			○	
護岸離隔距離1.7m	○			○	○	○

調査結果（対象地①）

地点②

- ・表層10cm程度はコンガラ混じりの層（①～⑤まで共通）
- ・道路境界から約6mの位置に建物基礎のような構造物あり
- ・深さ1.5m付近で水の湧きを確認

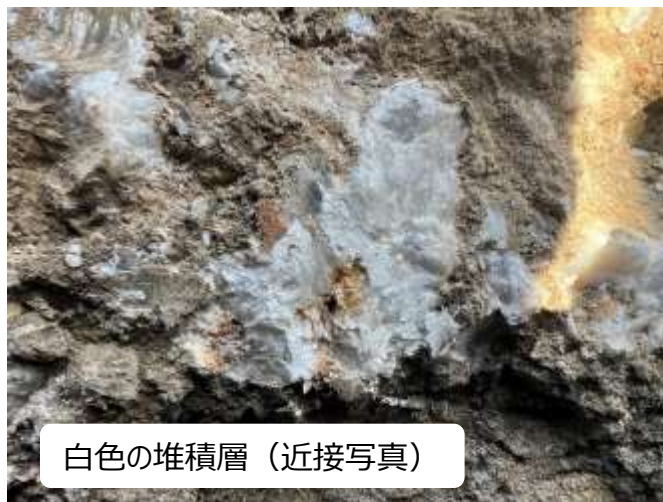


	①	②	③	④	⑤	⑥
旧水際線があったと思われる場所	○	○	○	○		○
過去に建築物や構造物があったと思われる場所	○	○			○	
護岸離隔距離1.7m	○			○	○	○

調査結果（対象地①）

地点③

- ・表層10cm程度はコンガラ混じりの層（①～⑤まで共通）
- ・深さ30cm～40cm付近に白色の堆積層あり
- ・護岸から5mの位置にコンクリート・レンガ等の構造物あり



	①	②	③	④	⑤	⑥
旧水際線があったと思われる場所	○	○	○	○		○
過去に建築物や構造物があったと思われる場所	○	○			○	
護岸離隔距離1.7m	○			○	○	○

調査結果（対象地①）

地点④

- ・表層10cm程度はコンガラ混じりの層（①～⑤まで共通）
- ・埋め戻し土のため、ガラ等も含まれるが障害物はなし



	①	②	③	④	⑤	⑥
旧水際線があったと思われる場所	○	○	○	○		○
過去に建築物や構造物があったと思われる場所	○	○			○	
護岸離隔距離1.7m	○			○	○	○

調査結果（対象地①）

地点⑤

- ・表層10cm程度はコンガラ混じりの層（①～⑤まで共通）
- ・埋め戻し土のため、ガラ等も含まれるが障害物はなし



	①	②	③	④	⑤	⑥
旧水際線があったと思われる場所	○	○	○	○		○
過去に建築物や構造物があったと思われる場所	○	○			○	
護岸離隔距離1.7m	○			○	○	○

調査結果（対象地①）

地点⑥

- ・深さ50cm～70cmにガラ等のレキ層あり
- ・深さ90cmに硬い層あり（厚み及び物質不明）
- ・追加掘削場所でも深さ90cmに硬い層あり

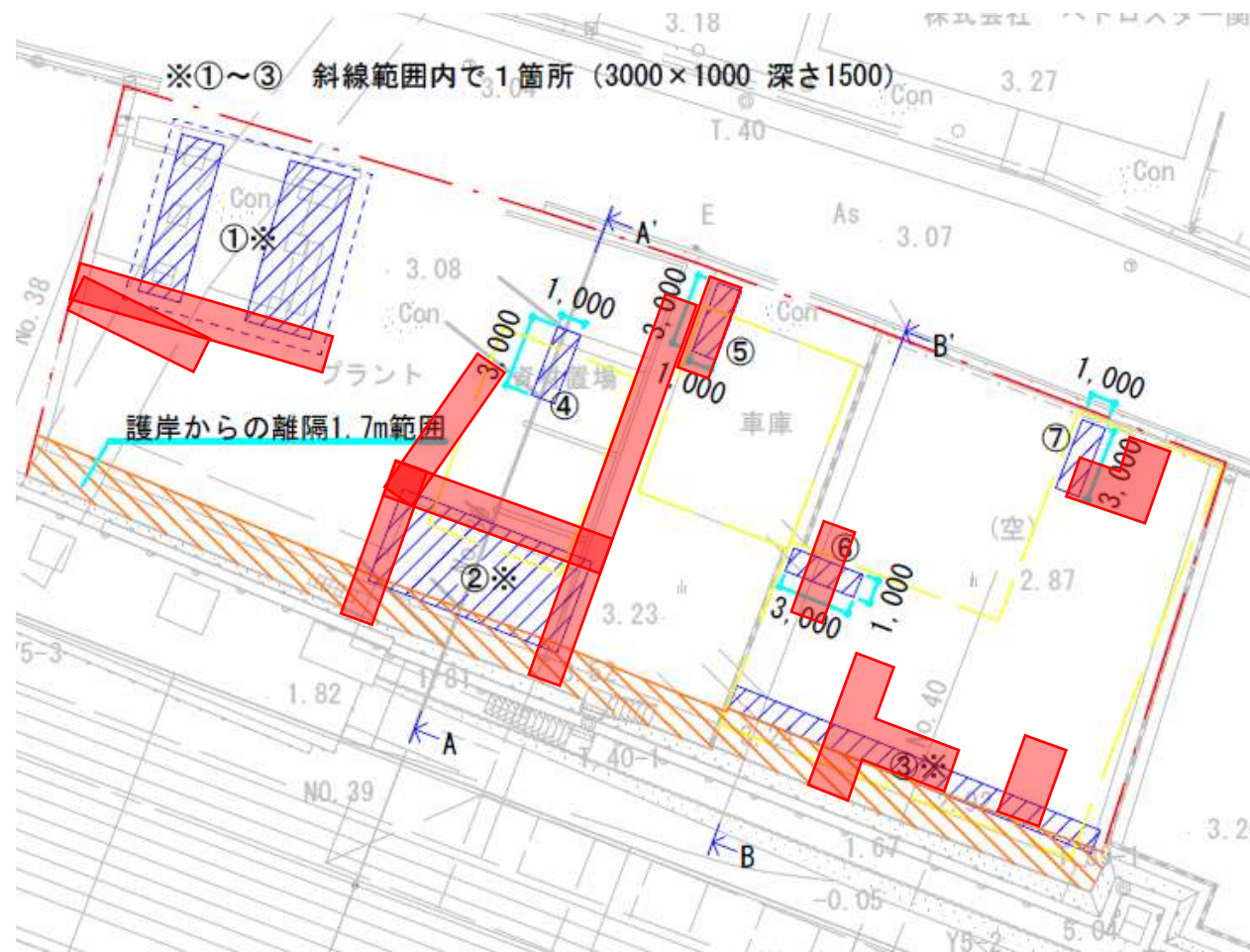


	①	②	③	④	⑤	⑥
旧水際線があったと思われる場所	○	○	○	○	○	○
過去に建築物や構造物があったと思われる場所	○	○			○	
護岸離隔距離1.7m	○			○	○	○

調査結果（対象地②）

試掘箇所候補

- ① 過去パイプライン架台基礎があった場所
- ② 荷揚げ資材投入架台があった場所
- ③ 護岸から離隔1.7m・建築物があった場所
- ④ 資材置き場構造物・建築物があった場所
- ⑤～⑦ 建築物があった場所

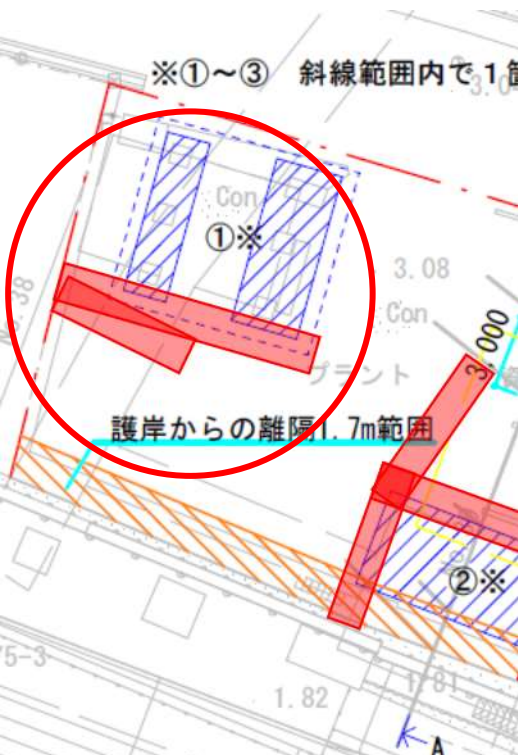


 試掘範囲

地点①

- ・架台基礎(t=500)残存確認
- ・道路付近は出入口として使用するためアスファルト舗装されている。
- ・アスファルト舗装範囲以外も表層はセメント改良されている。

① 過去パイプライン
架台基礎があった場所

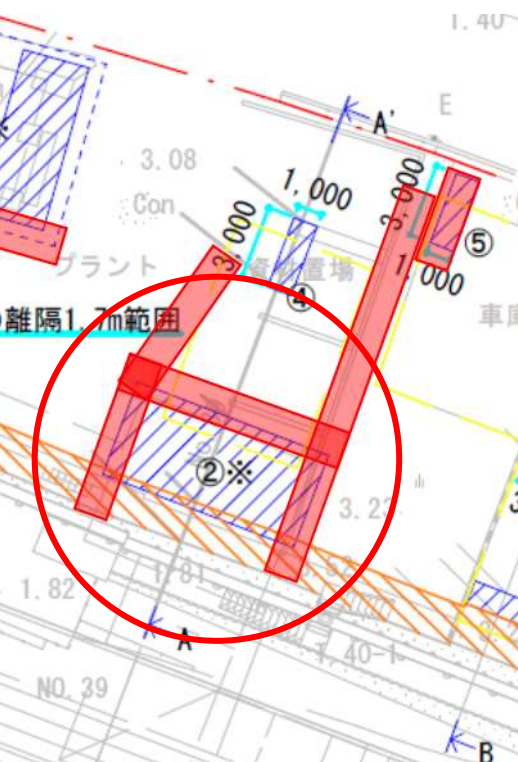


調査結果（対象地②）

地点②

- ・架台基礎(t=500) 土間コンクリート(t=120) 残存確認
- ・架台基礎は護岸と接している

② 過去荷揚げ用架台基礎があった場所



調査結果（対象地②）

地点④

- ・土間コンクリート($t=120\text{mm}$)残存確認（範囲は不明）
- ・表層埋め戻し土はセメント改良されている

④ 資材置き場構造物・建築物があった場所



調査結果（対象地②）

地点⑤

・埋め戻し土はコンクリート、レンガ等が多く含まれている。

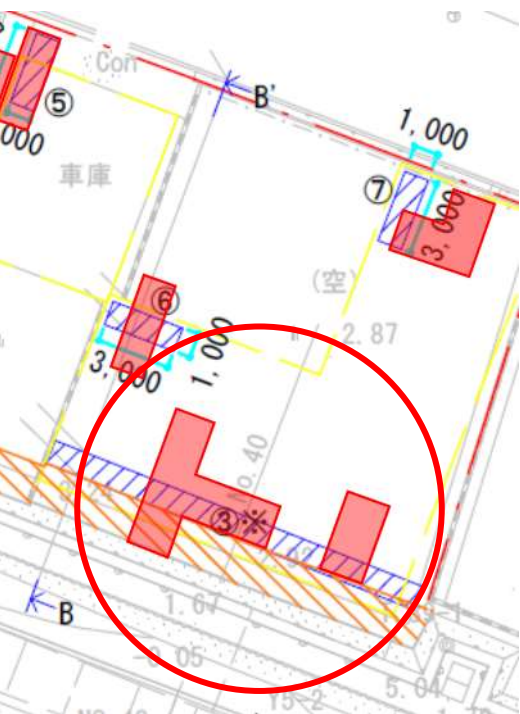
⑤ 建築物があった場所



地点③

- ・地表から110cmの深さにレンガ敷き残存確認（下地は地山）
- ・レンガ敷き以外に目立ったガラクタ等はみられず
- ・レンガ敷きは広範囲に残存している。

③ 護岸から離隔1.7m、
建築物があった場所



調査結果（対象地②）

地点⑥

- ・表層50cmまではややガウ多い
- ・表層から深さ110cm付近にレンガ敷き残存確認

⑥ 建築物があった場所



調査結果（対象地②）

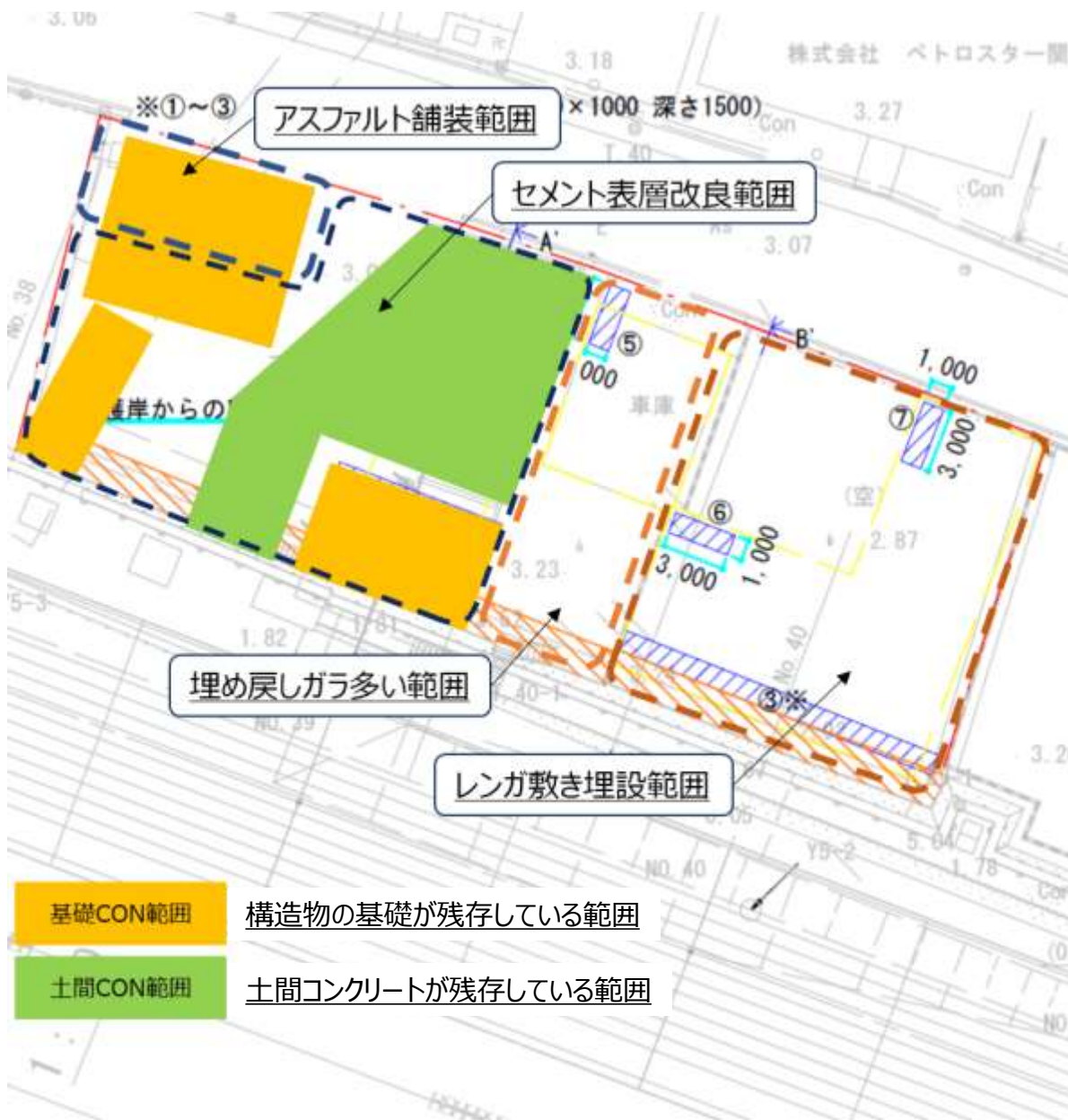
地点⑦

- ・表層から50cmの位置にレンガ敷確認
- ・レンガ以外は目立ったガラ等は見られなかった。

⑦ 建築物があった場所



調査結果（対象地②）



・対象地の西側半分は過去荷揚げ場として使用されており、架台の基礎や土間コンクリートが多く取り残されている。また、「アスファルト舗装範囲」は当該敷地の出入口として使用されており、アスファルトで舗装されている。その他の範囲についても表層がセメント改良されており非常に硬くなっている。

・対象地の東側半分は過去建築物が確認されている。「レンガ敷き埋設範囲」では地中に建物内通路等を使用されていたと思われるレンガ敷が残存している。レンガ敷自体は地山の上に一枚分を敷き詰めているため、撤去は可能であるが処分は産廃扱いとなる。その他の範囲については埋め戻しにコンクリートやレンガ等のガラが多く含まれていることが考えられる。